



錦絵「鹿兒島戦記」(当館蔵)

令和2年度第70回高知県芸術祭共催行事

講演会「幕末の薩摩」

講師 松尾 千歳氏 (尚古集成館館長)

日時: 11月14日(土) 13:30~

会場: 高知県立坂本龍馬記念館 新館1Fホール

定員: 50人 (要申込)

※電話、ファックス、メール、HPお問い合わせフォームにてお申込みください

担当学芸員によるギャラリートーク

日時: ①10月17日(土)

②12月 5日(土)

両日とも 14:00~ (申込不要)

※直接企画展示室へお越しください

土佐

— 雄藩がたどった近代化の道 — 展

薩摩と

「前期」 令和2年(2020)

10月6日(火) ~ 11月9日(月)

「後期」

11月14日(土) ~ 12月13日(日)

※前期・後期とも会期中無休

薩摩と

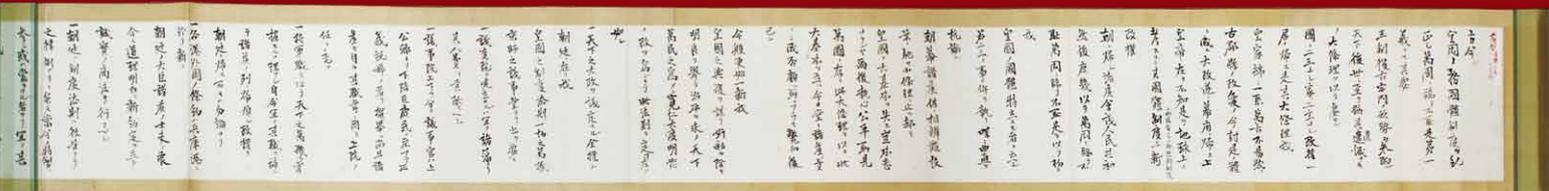
— 雄藩がたどった近代化の道 — 展



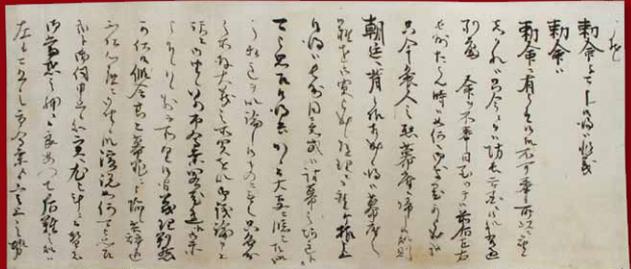
土佐

薩摩藩は、激しく移り変わる明治維新时期における重要な政治的リーダーであり、幕末以降の西洋技術導入においても、常に先駆的な位置を占めた。土佐との関わりでは、十三代藩主豊熙の室（智鏡院）が島津家から興入しており、將軍継嗣問題などをめぐって藩主の島津斉彬、山内豊信（容堂）らがともに「橋派」として運動したことなど縁が深い。戊辰戦争をともに新政府軍として戦い、維新政府でも要路を占めた薩摩と土佐であるが、明治六年政変後はいずれも部の官僚が政府を去り、政府への不満から土族が蜂起した薩摩は西南戦争へ、蜂起しなかつた土佐は自由民権運動へと対照的な道をたどった。

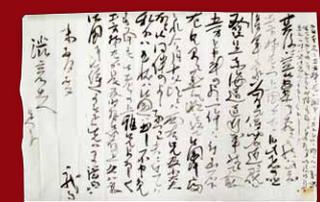
本展では、漂流の末アメリカから帰国した際薩摩藩の取調を受け、のちに同藩の開成所に教授として招かれたジョン万次郎（中濱万次郎）、藩の重役を暗殺して逃亡し、薩摩藩士となって慶応元年にイギリスに留学した高見弥市（大石固蔵）、そして神戸海軍操練所の閉鎖後より薩摩藩の庇護を受け、薩長同盟の仲立ちをし、西郷隆盛や大久保利通らとも深く交わった坂本龍馬の三人の土佐人を軸に、両藩が明治維新において果たした役割を再考したい。



● 薩土盟約書(国指定重要文化財/国立歴史民俗博物館所蔵) ◆ 後期展示

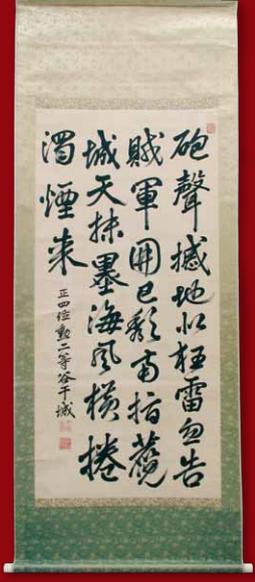


● 「非義の勅命は勅命にあらず」と説いた大久保利通書簡
慶応元年9月23日(部分)(国立歴史民俗博物館所蔵)

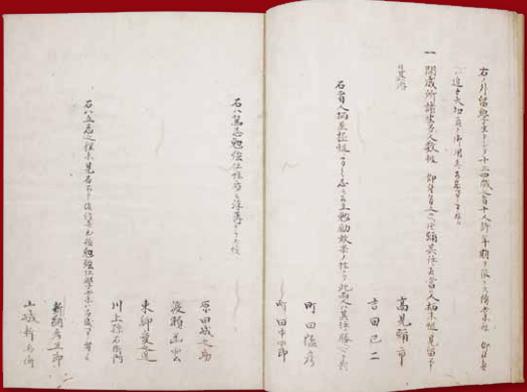


● 将軍が長州再征のため江戸を出発したことを報じる坂本龍馬書簡
慶応元年閏5月5日
(鹿児島県歴史・美術センター黎明館所蔵)

● 高見弥市(大石固蔵)肖像(高見長臣氏所蔵)



● 西南戦争での熊本籠城戦を詠んだ谷干城の詩
(熊本博物館所蔵)
谷は当時、陸軍熊本鎮台司令長官として籠城戦を指揮していた



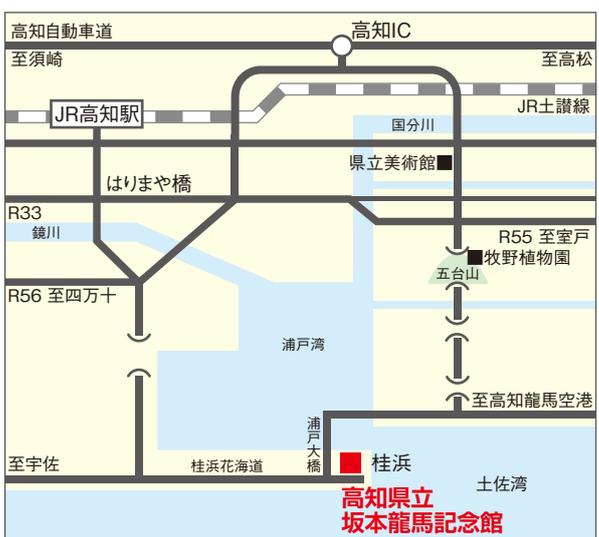
● 高見弥市を英国留学生に推薦した石河確太郎の上申書
(国指定重要文化財/国立歴史民俗博物館所蔵)



● 智鏡院所用丸十字唐草文欄器
(高知県立高知城歴史博物館所蔵)



● 西南戦争で西郷軍の兵士が用いた鉢巻
(熊本博物館所蔵)



■ JR高知駅からさでん交通バス「桂浜」行、「龍馬記念館前」下車徒歩約2分
 ■ 高知駅発着で龍馬記念館などを巡るバス「MY遊バス」(一日乗り放題)もお得です。毎日運行
 ■ 車・タクシー利用の場合、JR高知駅から約35分、高知空港から約25分、高知インターから約25分
 ■ 駐車場…普通車42台(うち障害者用駐車場2台)バス4台

開館時間 9:00~17:00/年中無休(最終入館16:30)
 観覧料 大人700円・20名以上の団体 560円
 高校生以下、高知県または高知市の長寿手帳所持者、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者とその介護者1名は無料

主 催 / 高知県立坂本龍馬記念館(公益財団法人高知県文化財団)
 後 援 / 高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局・共同通信社高知支局・時事通信社高知支局
 RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ・NHK高知放送局・エフエム高知

高知県立坂本龍馬記念館
 The Sakamoto Ryoma Memorial Museum
 〒781-0262 高知市浦戸城山830 TEL.088-841-0001 FAX.088-841-0015
 HP▶<https://ryoma-kinenkan.jp/> e-mail▶ryoma@ryoma-kinenkan.jp